

医療ビッグデータ利活用促進で世界の創薬研究に貢献 IQVIA、TriNetXと連携強化し、グローバル展開へ

国内最大規模の診療データベースを保有するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之、以下「MDV」）は、国際的な創薬研究に貢献する医療ビッグデータの利活用を促進するために、全世界で医療データサービスを提供する米国のIQVIA（ノースカロライナ州およびコネチカット州）の日本法人のIQVIAソリューションズジャパン株式会社とTriNetX, LLC（マサチューセッツ州、読み方：トライネットエックス）と業務提携契約を締結したことをお知らせします。

MDVの保有する診療データベースの国内の実患者数は3,669万人（2021年7月末日集計）に上ります。創薬につながる研究のための世界からの国内診療データへの旺盛なニーズに対応するため、IQVIAとTriNetXとの連携を強化します。両社の国際的なネットワークを活用し、日本国以外でのMDVの診療データの利活用を加速させていきます。

IQVIAは、世界100以上の国と地域で製薬会社を中心に、臨床開発やマーケティングなどの商業領域でのパフォーマンス向上に向けたサービスを提供しています。

IQVIAがMDVのデータを用いたサービスを海外展開することにより、研究開発、商業領域におけるフィジビリティ（事業化調査）など、海外の製薬企業や研究機関がMDVのデータを利活用しやすくなります。

TriNetXは、世界29か国にまたがる医療機関等と提携し、患者数にすると4億人を超えるグローバルヘルス研究ネットワークを構築しています。また、世界有数の治験プラットフォームを保有しています。TriNetXは株主である三井物産株式会社（東京都千代田区）と共に、国際共同治験などでのMDVのデータの利活用を促進します。



3669

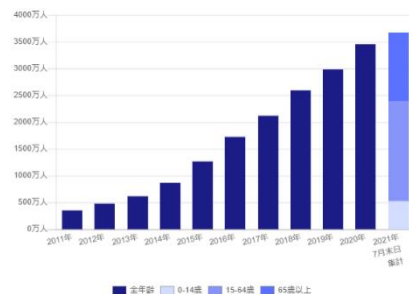
万人

実患者数

日本最大規模の診療データベース

※データ期間：2008年4月～2021年5月末日
※データ提供開始時期は病院により異なります。

※同一医療機関における患者は複数受診でも1人とカウントされますが、複数のデータ提供医療機関を受診した場合は重複カウントとなります。



【主力製品「MDV analyzer」のロゴ】



MDVの診療データベースについて
情報発信している『EBM情報局』の
二次元バーコード <https://www.mdv.co.jp/ebm/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞
メディカル・データ・ビジョン株式会社
広報室：君塚・赤羽、汲田
TEL：080-9023-1506（君塚携帯） MAIL：pr@mdv.co.jp